

すいとぴあ江南の今後についての座談会結果

◆実施の目的

市では、江南市公共施設再配置計画で定めたすいとぴあ江南の今後の方向性を令和 8 年度に決定することとしています。

方向性の決定において、北部地域が描くビジョンやその中ですいとぴあ江南が果たすべきミッションについて整理し、施設稼働状況など客観的な指標や公共施設更新問題を踏まえ、賑わいの拠点やシンボル等の必要な機能について、意見をお聞きし今後の方向性の検討に活用します。

◆開催日時及び参加者

日時	令和 7 年 7 月 11 日（金） 午前 9 時 30 分～
場所	江南市防災センター 3 階 仮眠待機室
参加者	保育園保護者連合会役員 各保育園保護者会会長 計 10 人

プログラム

1	はじめに	5 分
2	すいとぴあ江南の今後について	10 分
3	座談会	60 分
4	おわりに	5 分

◆すいとぴあ江南の今後についての概要

すいとぴあ江南の今後について、すいとぴあ江南の維持費用や利用状況、今後の検討における市の考えなどを説明しました。

【今後の検討における市の考え】

○すいとぴあ江南の位置づけ

財源不足によりすべての公共施設を現在と同規模で維持・更新することができない状況のため、行政関与の必要性が高い小中学校、保育園などを優先し、行政関与の必要性が低いすいとぴあ江南は維持・更新が難しい施設。

○すいとぴあ江南の将来像

近隣施設や遊歩道・サイクリングロードと連携し、木曽川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し多くの人に親しまれる場所にしたい。

座談会は 2 つのグループに分かれて行いました。

◆座談会

テーマ 「北部地域の将来の姿」

- 【キーワード】
- ・ すいとびあ江南の将来
 - ・ 多くの人に親しまれる場所
 - ・ シンボル、賑わいの拠点

座談会のテーマ、キーワードを念頭に置いていただきながら、面積3ha ある「すいとびあ江南」が今後どのような場所になるといいか、担う役割や機能について、ご意見を伺いました。

○座談会の様子



○意見（抜粋）

○賑わいの創出について

- ・ 現在芝生広場に遊具等が無いいため、子供連れは利用しづらい。子供が遊べるような施設になれば、賑わいはできると思う。
- ・ フラワーパーク江南など、周辺施設ではできないような体験があると、賑わいが生まれると思う。
- ・ 季節ごとのイベントや、バーベキューなど、1 家族だけでなく、友達家族などと一緒に遊んですごせるような施設になると、出かけ先の選択肢の一つになると思う。
- ・ 市北部は自然が豊かなので、その自然を活かした体験型の施設などができると、他と差別化ができると思う。

○レストランについて

- ・ 子供と気軽に何か食べられるようなものがあると、手ぶらで遊びに行きやすい。

○宿泊施設について

- ・ 宿泊は無くてもいいが、遊んだ後に入れるお風呂は他にはないので良いと思う。
- ・ 宿泊ができるようにするのであれば、グランピングなど自然を活かしたものが良い。

○展望台について

- ・ 展望台にお金をかけるなら、別のことにお金をかけた方がいい。

○その他

- ・ グランドなどの遊び（水遊び）場があると良い。屋根付きで熱中症の対策ができていると利用しやすい。

- ・夏の暑い日や雨など天候の悪い日に子供と過ごす場所が江南市にはないので、わざわざ近隣市町へ出かけている。遊具があり、屋根もある全天候型の広場があり、更に水遊びもできると近隣市町からも人が来るのではないか。

◆まとめ

保育園保護者連合会および各保育園保護者会会長の方々から意見を伺いましたが、遊具のある広場や、自然を活かした体験ができる施設など、子育て中の保護者の視点で利用しやすい施設の意見をいただきました。

また、例えば、屋根のある全天候型の広場のような近隣にはない差別化した場所や、家族で気軽に訪れることができるような施設があれば、さらに賑わいが生まれると思うといった意見が多くあり、すいとぴあ江南の将来を考えるうえでとても参考になる意見ばかりでした。

今後の検討においても、すいとぴあ江南を含む北部地域全体の将来像を「多くの人に親しまれる場所」「江南市のシンボル」「賑わいの拠点」といったキーワードを念頭に置きつつ、財政面や地域のニーズなども総合的に勘案し、持続可能な形で地域の魅力を高められるよう、市民の皆さんの意見をうかがいながら検討を進めていきたいと考えています。